

平成 26 年度生田緑地マネジメント会議第 1 回運営会議 議事録

1. 日 時 平成 26 年 4 月 23 日(水) 18:30~20:30
2. 場 所 生田緑地東ロビーターセンター
3. 議事概要
 - 承認事項
 - ・ 生田緑地マネジメント会議会員活動計画について・・・[資料 1]
 - 報告事項
 - ・ 行政・指定管理者の事業予定・・・[資料 2]
 - ・ 第 4 回生田緑地の案内を考えるプロジェクト会議 報告・・・[資料 3]
 - 協議事項
 - ・ 平成 25 年度第 2 回全体会ワークショップのまとめと提案・・・[資料 4]
 - その他
4. その他の配布資料
 - ・ 次第
 - ・ 生田緑地マネジメント会議会員名簿
 - ・ 平成 26 年度生田緑地マネジメント会議 第 2 回全体会議 会議録・・・[参考資料]
 - ・ 平成 26 年度生田緑地マネジメント会議 第 2 回全体会議 ニュースレター・・・
[参考資料]
5. 議事内容
 - 挨拶等
 - (事務局)
 - ・ 平成 26 年度生田緑地マネジメント会議第 1 回運営会議を開催する。
 - (副会長)
 - ・ 今年度最初なので、行政の部署異動のあった方に自己紹介をお願いしたい。
 - (建設緑政局 みどりの企画管理課・多摩区役所企画課より挨拶)
 - 承認事項【生田緑地マネジメント会議会員活動計画書について】
 - (副会長)
 - ・ 生田緑地マネジメント会議活動報告書と、活動計画書を提出していただいた。
 - ・ 事前に資料は送付してあるので詳細な説明は省略する。補足説明等必要な団体はあるか。補足説明がないようであれば質疑応答に入る。
 - ・ 特に質問等が無いようなので、平成 26 年度活動計画書を承認される方は拍手をお願いしたい。
 - (出席者)
 - ・ 拍手多数 (承認)

○報告事項【行政・指定管理者の事業予定】

(副会長)

- ・ 行政・指定管理者の事業予定について、補足説明が必要な部署はあるか。

(建設緑政局 みどりの保全整備課)

- ・ 平成 26 年度の生田緑地内の工事予定箇所について説明する。初山地区広場整備は昨年度実施した第 1 期から引き続き、今年度も第 2 期として行っていく。第 2 期の内容は広場整備等で、一部水路から流れを引いて池を整備するにあたり住民の方々と協議を進めている。
- ・ ゴルフ場の中の旧クラブハウスを解体する。
- ・ ゴルフ場のキャディハウスを建て替える計画がある。
- ・ さらに、生田緑地災害時搬入道路整備工事を行う。ゴルフ場が災害時のヘリコプターの着陸基地に位置付けられており、自衛隊が駐屯するスペースが市の防災計画の中で求められている。その関係で、現在横浜生田線の浄水場前の通路を一部拡幅して、自衛隊の大型車が入れる幅員を確保する工事を予定している。
- ・ 工事の時期はそれぞれ、初山地区広場整備と災害時搬入道路が第 3 四半期に着手予定、ゴルフ場クラブハウス解体からキャディハウスの建て替えまでで 1 年間となる予定。

(建設緑政局みどりの協働推進課)

- ・ お手播き苗植樹式および市民 100 万本植樹運動の開催について説明する。平成 22 年に神奈川県で全国植樹祭が開催され、生田緑地もサテライト会場のひとつとなった。それを契機として、建設緑政局では市民 100 万本植樹運動を平成 22 年から進めている。平成 36 年で市制施行 100 周年を迎えるのに合わせて 100 万本の植樹を目標としている。
- ・ 平成 22 年は南足柄のメイン会場で天皇皇后両陛下が樹木の種をお手播きされた。今年の秋以降、生育した種を神奈川県から各市町村に配布をする。今回、生育条件により 4 種類の苗木（天皇陛下が植えられたブナ、スダジイ、皇后陛下が植えられたコブシ、ヤブツバキ）が配られることになっている。市としては両陛下が植えられたものを 1 本ずつ頂きたい。その配布時期が秋以降となるので、毎年やっている植樹祭と同時に開催していきたいと考えている。場所は川崎市内で検討し、全国植樹祭サテライト会場として植樹をしたこと、集客にもよいということで生田緑地で開催することとなった。
- ・ お手播き苗の植樹場所は生田緑地中央広場トイレの付近とする。100 万本植樹運動植樹祭は、西口園路で開催を考えている。植える樹種や本数については自然環境保全会議で調整を図りたい。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 指定管理業務区域外の施設の補修や樹木の管理を行う。

- ・ 奥の池は長年水質の悪化が問題となっているので、水を抜いて中の泥を除去する。生息している生物の保護なども必要となり、大規模な作業になるのでマネジメント会議で相談しながら進めたい。
- ・ 枅形門が老朽化しているため、建替え工事を行う予定。
- ・ ゴルフ場の中のフェンスやばら苑内の施設の補修を行う。
- ・ 西口園路整備後の状況はモニタリング調査を行うなど、自然会議と連携して進めたい。

(生田運営共同事業体)

- ・ 資料には、自主事業がどういうカテゴリで展開するのかを記載している。自主事業は今年度も一部開催を始めているものがある。今後も、その都度マネジメント会議に報告しながら進めていきたい。

(岡本太郎美術館)

- ・ 今年整備された西口園路の途中に母の塔がある。西口園路の開通で人通りが多くなってきたため、塔が汚れていることが気になりである。足場を組む大掛かりな清掃補修を今年度予定している。
- ・ 夏には芝生に皆が座ったり、子供が遊んだりする場所なので、閑散期の冬場の清掃・補修工事を考えている。足場を組んでも西口園路の動線を確保し作業したいと考える。

(副会長)

- ・ ここまでの説明も含め、行政・指定管理者の事業に関して質問があれば挙手をお願いする。

(特定非営利活動法人 かわさき自然調査団)

- ・ 自主事業展開の計画表を見ると利用を推進するものばかりである。生田緑地のビジョンとして利用と保全のバランスを謳っているが、それが表れていない。この中で、指定管理者としてどのように保全を考えていくのか。

(生田緑地運営共同事業体 統括責任者)

- ・ 自主事業では、参加をする方に対して生田緑地がどういう場所であり、どのような市民団体や取り組みがあるのかを、導入部分でガイダンスを行っている。それらを理解してもらった上で生田緑地のルールを説明し、イベントに参加してもらっているので、保全と利用のバランスを考えていないわけではない。そういった段取りを自主事業の中でもやっていきたいと思う。

(特定非営利活動法人 かわさき自然調査団)

- ・ 来園者が増える過程で盗掘やものを壊したり犬のフンを放置したりする人を、積極的に防ぐ為にどうするのかを考えて欲しい。

(生田緑地運営共同事業体)

- ・ 生田緑地の自然の保全についてはもちろん我々も認識している。近年マナーの悪い利用者が多いのは事実である。そこで指定管理者としてルールを提示したが、まだ浸透していないためチラシを各館やビジターセンターで配布して周知を図っている最中である。ただし、声掛けをしても人によって指導の仕方が違う、といった問題もあるので、今後もルールについては生田緑地運営共同事業体全体で考えていきたい。また、我々も知らないことは多々あるので、こちらからの提案に対して皆さんからご指摘いただきたい。
- ・ 指定管理者で自然の保全体制に関して検討し、皆の前で説明したいと考えている。

(副会長)

- ・ 皆に提案して指摘を受けたり説明したりする場というのは、マネジメント会議で、ということか。

(生田緑地運営共同事業体)

- ・ (このあと議題に挙がるかもしれないが) マネジメント会議の前段階であるコア会議で先に提示し、皆の意見を集めて改善しながら土台を作りたいと思う。

(副会長)

- ・ 具体的な内容が決まっていなくても、保全についても事業として具体的に企画し、計画を立てていくという方針についてはどうか。

(特定非営利活動法人 かわさき自然調査団)

- ・ いつ、何を、どのように、といったことが分からないと方針の良し悪しを判断できない。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 資料は、自主事業の取り組みとして予定されているものの一覧である。行政としては、自然の保全に関する取り組みについては、維持管理に含めて考えている部分であり自主事業としては載せにくいので、今までどおり維持管理業務として、自然会議などでその都度話し合いたいと思う。

(会長)

- ・ 全員で議論するには難しい問題なので、改めて率直な意見交換ができればいいのではないか。これまで、それぞれの進め方について具体的に話し合いが行われていなかったこともあるので、コア会議でも相談しながら取り組んではどうか。他の質問はあるか。

(自然会議会長)

- ・ お手播き苗植樹式と植樹祭について自然会議会長としてお願いがある。今回のように年度単位で議論していくと、望ましくないと思った取り組みについてもやらざるを得なくなる。今後は、実施する当該年度に協議を始めるのではなく、予算要求する時点で議論させて欲しい。

- ・ また、お手播き苗木植樹式と植樹祭の今日的意義、保全生態学的・遺伝学的に見た時、自然の保全にとってどのような特質があるのかを自然会議で説明して頂きたい。

(建設緑政局みどりの協働推進課)

- ・ 植樹式と植樹祭の開催については、直前の報告となり申し訳ない。自然会議が来月開催されるとのことなので、内容の説明と植栽する樹種についての協議を行いたい。

(会長)

- ・ 生田緑地でこういった行事をやるということは事前に相談できないのか、検討の余地があるのか。

(建設緑政局みどりの協働推進課)

- ・ 今回の件は平成 22 年に生田緑地が植樹祭のサテライト会場となった経緯があるので、生田緑地での開催について理解を頂きたい。今後、生田緑地に新たに植樹することがある場合は相談させていただきたい。

(自然会議会長)

- ・ 現在の生物学では、植樹は必ずしも良いことではないにも関わらず、川崎市では推進している。その矛盾について参加する方に説明したい。単に樹種だけを決めるといのが不満なのであって、実施すること自体を否定しているわけではない。

(建設緑政局 緑政部長)

- ・ 生田緑地は川崎市を代表する総合公園であり、都市公園である。川崎市として大きなイベントを打つ時も会場の選定には行政の事情がある。その為に昨年作った保全・利用方針に基づいてやっている。100 万本の植樹運動については、川崎市は推進する立場であるため生田緑地を会場として設定した。
- ・ 土壌や遺伝子の条件を揃えるには限界がある。そのことについてはご了承を願う。

(会長)

- ・ 市民と行政が話し合える場なので、お互いが意見を出し合って理解しあえればと思う。

○【第 4 回生田緑地の案内を考えるプロジェクト会議 報告】について

(鴛鴦沼自治会)

- ・ 4 月 15 日にプロジェクト会議を開催した。
- ・ 今年度の春のばら苑開苑期間中、おし沼北ルートに簡易看板が設置されることになった。また、違法駐車対策で注意看板も設置する。おし沼自治会でも説明を行っており了解を得ている。
- ・ 案内地図の改善点として、分かりにくい箇所を拡大すること、お薦めルートだけでなくアクセス可能なルートも紹介すること、などの意見が挙げられた。
- ・ 裏面ではバスの案内の掲載について検討した。生田緑地の施設紹介も掲載する予定である。

- ・ 駅前の案内版をもっと有効に使いたいなど、ハード面に関する意見も寄せられた。
- ・ 5月24日9時～11時に向ヶ丘遊園駅南口で地図を配りながらばら苑への案内を行うので協力をお願いします。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ 向ヶ丘遊園駅から案内するのに、登戸駅を入れると見にくくなる。たくさんの情報を入れると分かりにくくなる。

(鴛鴦沼自治会)

- ・ 地図上で登戸駅と向ヶ丘遊園駅の表記があればいい。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 今回、向ヶ丘遊園駅前で配布するので、そこから行きやすいシンプルな地図にしたほうがいいのかという意見がある。
- ・ 去年配布した際の反省点を活かし、ばら苑周辺のいろいろな場所に置ける地図へと改善させている。

(生田緑地の雑木林を育てる会)

- ・ これが行きの道だとすると、帰りの道は宿河原駅が近い。登戸駅を載せるなら宿河原駅も載せた方がよい。10分近く違う。

(鴛鴦沼自治会)

- ・ 今日はいい意見を頂いたので参考にしたい。

(岡本太郎美術館 副館長)

- ・ バスルートではばら苑正門を勧めているが、おし沼から行く方が高低差も少ないのでは。

(鴛鴦沼自治会)

- ・ おし沼北から行くと15、6段の階段を上がり、また少し降りる。溝の口から来る場合はおし沼からの方が良い。

(会長)

- ・ おし沼側からのルートは積極的に案内してくことになった。溝の口に帰る人の選択肢も増える。情報を整理しつつ多くの方に親切な案内となるにはデザイン力が必要なので、プロの人をお願いしてもいいのでは。
- ・ 案内地図の裏には特定の業者の宣伝を載せてはいけないと考えがちだが、行政ではなくマネジメント会議で作っている地図なので、そこは柔軟に対応してもよいのでは。たとえば、マネジメント会議会員に関わる団体・組織の名前は載せる、など。ルールを整理した上で積極的に紹介を行えば、商店街連合会が関わる意味がアップするのでは。

(生田緑地整備事務所)

- ・ プロジェクトでもそういう議論になった。現段階は民家園通り商店街が載っており、作成・マネジメント会議と書いている。生田緑地周辺には商店街がたくさんあり、

民家園通りだけ、というのは会員であっても説明が難しくなる可能性があるので慎重に扱っていきたい。

○協議事項 【平成 25 年度第 2 回 全体会ワークショップまとめと提案】

(事務局)

- ・ 平成 25 年度第 2 回全体会が主催され、その意見を取りまとめた。
- ・ 良かったことは、「新たな交流が生まれたこと」「意見が取り組みとなり実施されたこと」「情報の共有化ができたこと」など。
- ・ 不足していたことは「団体同士交流し、情報交換する方法がなかったこと」「生田緑地マネジメント会議で行われる話し合いが大所帯すぎて動きが鈍いこと」「生田緑地の自然について知って貰う方法がないこと」。など
- ・ 不足していたことに対する解決案の 1 つ目として「サロン」を提案する。会員同士の交流を増やし自由に意見を言える場として定期的開催されると良い。
- ・ 2 つ目に「コア会議」の開催を提案する。サロンで課題を発掘しコア会議に持ち上げる。運営会議より気軽に発言できれば良い。
- ・ 3 つ目は、運営会議の中でグループワークを行うこと。興味があるテーマごとに分けてグループごとに話し合いを共有する。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ サロンについて提案した。会議は数回しか開催されないのでお互い何をやっているかわからない。生田緑地の中には 3 館の優れた学芸員の方がいるので、その方の話をもとに会話を楽しむのもよい。難しいことを話すのではなくざっくばらんに会話をして、それを何回か行えば形になると思う。将来的には外から人を呼んで話を聞くこともできる。

(会長)

- ・ 解決案と書いてある事は実現できそうなことを書いている。
- ・ サロン開催の指揮をとる人はいるか。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ 指定管理者と一緒にすすめるのであれば取り組みたい。

(生田緑地整備事務所)

- ・ サロンで出た話をコア会議でまとめて実際に取り組みとして進めていき、運営会議でフィードバックできれば会議の流れに取り込んでいけると思う。

(会長)

- ・ その他、団体からの報告をしたい方はいるか。

(日本民家園)

- ・ 今年はゴールデンウィークにイベントを開催する。子供関連が多いため、親子で来て民家園の雰囲気味わってもらいたいと思う。

- ・ 指定管理業務になってから、民家園のカレンダーは A3 の二つ折、前回の 2 倍のサイズになった。
- ・ サロンは楽しみにしており、夜だけでなく曜日を変えとか、昼にやるなどと変えると参加しやすくなる。

(生田緑地整備事務所 所長)

- ・ 向ヶ丘遊園の跡地について小田急が白紙撤回したということが新聞に掲載された。

(事務局)

- ・ 会議の風景などの写真をホームページやニュースレターに掲載することがあるが、問題のある会員はいるか。

(会場)

- ・ 異議なし

(生田緑地整備事務所)

- ・ 運営会議は 2 ヶ月に 1 回程度開催する予定。次回は 6 月の下旬から 7 月の月上旬に開催したいと思う。

(会長)

- ・ 議事はすべて終了したが、近況の報告等はあるか。

(生田緑地の雑木林を育てる会)

- ・ コア会議とはどんなものか。

(会長)

- ・ 運営会議さえ大人数になってしまい詳細な議論や新たな提案がしにくい。また会議自体のあり方について協議する場がなかったので、生田緑地に関心が高い人が集まって話しあうミーティングである。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 3 月の全体会で出た意見を 4 月のコア会議で話し合い、サロンやテーマ別グループワークなどの提案をまとめた。コア会議は会議の進め方について、関心のあるメンバーで話し合いたいという趣旨のものである。

(生田緑地の雑木林を育てる会)

- ・ 第 1 回の参加者は何人だったか。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 15 人程だった。

(生田緑地の雑木林を育てる会)

- ・ コアメンバーとコア会議が同じ名前で紛らわしい。

(生田緑地整備事務所)

- ・ コアメンバーは運営会議に出る人だが、コア会議は特にメンバーは決めなくていいと考えている。

(飛森谷戸の自然を守る会)

- ・ 「会議」という名前だと議事録を出す必要がある。

(生田緑地整備事務所)

- ・ 整理し会議の位置づけをはっきりしたいと思う。

(会長)

- ・ 情報の出し方は改善余地がある。他になければ今日はこれで終了とする。

以上